

WebLog

操作説明書

TurboHamLog データ互換 アマチュア無線ログ管理システム

説明書バージョン 1.02 対応プログラムバージョン v1.02

Copyright © JH1XHX/JA6FUF

1. 概要

WebLog は、ブラウザ上で動作するアマチュア無線の QSO ログ管理ソフトウェアです。インストール不要で、weblog.html をブラウザで開くだけで使用できます。データはブラウザのローカルストレージ（端末内）に保存されます。

項目	内容
対応ブラウザ	Google Chrome・Microsoft Edge（推奨）、Safari（iOS/macOS）、Firefox
対応端末	Windows PC、Mac、iPad、Android タブレット、スマートフォン
データ保存先	ブラウザのローカルストレージ（端末内）

💡 データはブラウザごとに独立して保存されます。PC のデータをタブレットで使うにはエクスポート→インポートが必要です。

2. 初めてお使いになるには

本ソフトウェアを初めてお使いになる際は、以下の手順で準備を行ってください。

■ 手順 1 ブラウザで開く

1. エクスプローラーで weblog.html をダブルクリック（Chrome または Edge で開く）
2. 画面が表示されることを確認する

💡 スマートフォン・タブレットの場合は、ファイルをクラウド（OneDrive 等）経由で端末に転送し、ブラウザで開いてください。

■ 手順 2 自局コールサインを登録する

1. タイトルバー右側の「+」ボタンをクリック
2. 自局のコールサイン（例：JA1XXX）を入力して OK をクリック
3. プルダウンにコールサインが表示されることを確認する
4. 複数のコールサインを使用する場合は「+」ボタンで繰り返し登録する

■ 手順 3 保存先フォルダを設定する（Chrome/Edge 推奨）

1. 画面下部フッターの「📁 保存先設定」ボタンをクリック
2. フォルダ選択ダイアログで保存先フォルダ（例：c:\weblog）を選択
3. 以降、エクスポート・バックアップファイルが指定フォルダに自動保存される

💡 この設定はブラウザに記憶されます。Safari（iPad）では通常のダウンロード先に保存されます。

■ 手順 4 試しに QSO を入力してみる

1. 「今」ボタンをクリックして日時を自動入力
2. コールサイン欄に交信相手のコールサインを入力
3. 周波数・モード・RST 等を入力
4. 「入力」ボタン（または F1 キー）を押して記録
5. ログ一覧に QSO が追加されることを確認する

■ 手順5 バックアップを取る

1. フッターの「バックアップ」ボタンをクリック
2. バックアップファイル (.json) が保存先フォルダに作成されることを確認する
3. 以降、定期的にバックアップを実施する

△ データはブラウザのローカルストレージに保存されます。ブラウザのキャッシュ消去や端末の故障でデータが失われる場合があります。定期的なバックアップを強くお勧めします。

■ 手順6 既存の HAMLOG データを取り込む場合

1. HAMLOG で CSV 形式にエクスポートする
2. WebLog のフッターの「HAMLOG CSV インポート」ボタンをクリック
3. エクスポートした CSV ファイルを選択する
4. インポート完了のメッセージを確認する

💡 インポート前に、取り込み先のコールサインがプルダウンで正しく選択されていることを確認してください。

3. 画面構成

エリア	説明
タイトルバー	コールサイン選択プルダウン、時計 (JST/UTC) 表示
入力フォーム	QSO 情報の入力エリア
フィルター・検索	ログ一覧の絞り込み
ログ一覧テーブル	QSO 記録の一覧表示
統計エリア	総交信数・バンド別・モード別集計・JCG/JCG 達成数
フッターボタン	エクスポート・インポート・バックアップ・保存先設定

4. 自局コールサイン管理 ※v1.01 新機能

タイトルバーのプルダウンで複数のコールサインを管理できます。コールサインごとにデータベースが完全に独立しています。

■ 4-1. 新規コールサインの登録

1. タイトルバーの「+」ボタンをクリック
2. コールサイン (例: JA1XXX) を入力して OK
3. そのコールサインのデータベースに自動切り替え

■ 4-2. コールサインの切り替え

1. タイトルバーのプルダウンをクリック
2. 切り替えたいコールサインを選択
3. そのコールサインの QSO データが即座に表示される

■ 4-3. コールサインのリスト削除

1. 削除したいコールサインをプルダウンで選択

2. 「-」 ボタンをクリックして確認

📍 リストから削除しても QSO データは消えません。再度「+」で追加すれば復元されます。

5. QSO の入力

■ 5-1. 入力フィールド一覧

フィールド	説明	入力例
日付	交信日 (YYYYMMDD 形式)	20260506
時刻 (JST)	交信時刻 (HHMM 形式)	1430
コールサイン	交信相手のコールサイン	JA2YYY
周波数 (MHz)	交信周波数	7.100
モード	SSB / CW / FM / AM / FT8 など	SSB
RST 送	送信した RST レポート	59
RST 受	受信した RST レポート	57
名前	交信相手の名前	山田
QTH	交信相手の場所。読みを入力すると JCC 候補が表示	さっぽろ → 北海道 札幌市
JCC	JCC/JCG コード (QTH 欄から自動入力も可)	0101
QSL	QSL カード送付方法	ビューロー/ダイレクト/電子/なし
備考	メモ欄	599 TU

■ 5-2. QSO 入力の手順

1. 「今」 ボタンで現在の JST 日時を自動入力
2. コールサインを入力 (過去の交信履歴がドロップダウン表示)
3. 各フィールドを入力
4. F1 キーまたは「入力」 ボタンで記録

■ 5-3. JCC/JCG 地名よみ検索 ※v1.01 新機能

QTH 欄に地名の読みを入力すると、JCC/JCG コードの候補が表示されます。

1. QTH 欄に読みを入力 (例: さっぽろ)
2. ドロップダウンに候補が最大 20 件表示される
3. クリックすると JCC コードと QTH が自動入力される

📍 ひらがな・カタカナどちらでも入力可能。漢字 (例: 札幌) でも検索できます。

⚠ JCC/JCG データは作者が独自に作成したものであり、内容に誤りが含まれる可能性があります。誤りを発見された場合は、ご自身で `jcc-data.js` を編集して修正するか、作者までご連絡ください。

■ 5-4. 過去の交信記録の表示

コールサイン入力時に過去の交信記録がある場合、入力欄の横に「★過去 N 件 | 直近: 日付 時刻 バンド モード 名前」の形式で最新の交信情報が表示されます。

また、入力しながらドロップダウンに最大 8 件の過去記録が一覧表示されます (クリックで編集モードに読み込み可能)。編集モード中も他の交信記録が表示されます。

■ 5-5. QSO の編集・削除

- 編集：ログ一覧の行をクリック → フォームに読み込み → 修正 → 「更新」ボタン
- 削除：ログ一覧の「X」ボタンをクリック → 確認ダイアログで OK

6. ログ一覧

■ 6-1. No. の割り当て ※v1.01 変更

No. は古い交信順 (No. 1 = 最初の交信) に番号が振られます。一覧を降順で表示すると、一番上の No. がそのまま総交信数になります。

■ 6-2. 並び替え

列ヘッダをクリックすることで昇順・降順に並び替えができます。起動時・コールサイン切り替え時は降順 (新しい順) で表示されます。

■ 6-3. 検索・フィルター

操作	説明
検索欄	コールサイン・名前・QTH・備考・JCC コードで絞り込み
バンド絞り込み	特定バンドのみ表示
モード絞り込み	特定モードのみ表示

■ 6-4. 大量データの表示 ※v1.01 新機能

データが多い場合は最初の 300 件のみ表示します。「▼ 続きを表示 (残り X 件)」ボタンで 300 件ずつ追加表示できます。

7. エクスポート・インポート

エクスポートファイルのファイル名には自局コールサインが含まれます。例：

Hamlog_JA1XXX_202605061430.csv

■ 7-1. HAMLOG CSV エクスポート

現在のコールサインの QSO データを HAMLOG 互換の CSV 形式でエクスポートします。Shift-JIS 形式で出力されます。

■ 7-2. HAMLOG CSV インポート

HAMLOG 形式の CSV ファイルを現在のコールサインのデータベースに取り込みます。

💡 インポート先は現在選択中のコールサインのデータベースです。インポート前にコールサインを確認してください。

■ 7-3. ADIF エクスポート

ADIF フォーマットでエクスポートします。日時は JST から UTC に自動変換されます。


■ 7-4. バックアップ・リストア

操作	説明
バックアップ	QSO データを JSON ファイルで保存。ファイル名例： weblog_backup_JA1XXX_20260506.json
リストア	バックアップ JSON ファイルから復元（現在のデータは上書きされる）

△ リストアすると現在のデータは上書きされます。事前にバックアップを取ってください。

■ 7-5. 保存先フォルダの設定 ※v1.01 新機能

Chrome/Edge (PC) では、エクスポート・バックアップファイルの保存先フォルダを指定できます。

1. フッターの「 保存先設定」ボタンをクリック
 2. フォルダ選択ダイアログで保存先（例：c:\weblog）を選択
 3. 以降、すべてのエクスポート・バックアップが指定フォルダに直接保存される
- 💡 設定は記憶されます。ブラウザを再起動しても同じフォルダに保存されます。

8. 統計表示

表示項目	説明
総交信数	現在のコールサインの全 QSO 件数
JCC/JCG	達成局数と次の目標（100C 単位）までの残り数
バンド別	バンドごとの交信数
モード別	モードごとの交信数

9. キーボードショートカット

キー	動作
F1	QSO を記録（入力ボタンと同じ）
Esc	編集モードをキャンセル・フォームをクリア

10. タブレット・スマートフォンでの利用

iPad・Android タブレット・スマートフォンのブラウザで weblog.html を開くことで使用できます。画面サイズに応じてレイアウトが自動調整されます。

■ ホーム画面への追加（アプリとして使う）

- iOS (Safari) : 共有ボタン → 「ホーム画面に追加」
- Android (Chrome) : メニュー → 「ホーム画面に追加」

■ 端末間のデータ共有

PC とタブレット間でデータを共有するには、HAMLOG GSV またはバックアップ JSON をエクスポートし、もう一方の端末でインポートします。

11. 更新履歴

バージョン	更新内容
v1.02	<ul style="list-style-type: none"> ・コールサイン入力時の「★重複」表示を過去の交信件数・直近記録の表示に変更 ・編集モード中でもコールサイン入力でドロップダウンに過去の交信記録を表示
v1.01	<ul style="list-style-type: none"> ・複数コールサインのデータベースを個別管理に変更 ・コールサイン選択プルダウンの追加（+登録・-削除ボタン） ・コールサイン切り替え時に降順表示でリセット ・No を古い順（No. 1=最初の交信）に変更 ・JCC/JCG 地名よみ検索機能の追加（QTH 欄から検索） ・エクスポートファイル名にコールサインを追加 ・保存先フォルダ設定機能の追加（Chrome/Edge 対応） ・大量データの高速表示（300 件ずつ表示）
v1.0	初版リリース

12. 免責事項

本ソフトウェア（WebLog）は、アマチュア無線の QSO ログ管理を目的として、JH1XHX/JA6FUF が個人で開発・提供するものです。

■ 無保証

本ソフトウェアは「現状のまま（AS IS）」で提供されます。動作の正確性、信頼性、特定目的への適合性について、いかなる保証も行いません。

■ 免責

本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じた、データの消失・破損・漏洩、業務の中断、その他いかなる損害についても、作者は一切の責任を負いません。

■ データの管理

QSO データはブラウザのローカルストレージに保存されます。ブラウザのデータ消去・端末の故障・OS の再インストール等によりデータが失われる場合があります。定期的なバックアップを強くお勧めします。

■ 電波法・アマチュア業務規則

本ソフトウェアの使用にあたっては、電波法およびアマチュア無線に関する法令・規則を遵守してください。法令違反による結果について作者は責任を負いません。

■ 改変・再配布

本ソフトウェアの改変・再配布を行う場合は、作者（JH1XHX/JA6FUF）への事前連絡をお願いします。